

演 題 名	おしりにもスキンケアを～もも尻めざそう～					
施 設 名	花川病院 看護部		発 表 者	田口 明子（看護師）		
活 動 の 種 類	質・安全・能率・CS・モラル・コスト	取 り 組 み 種 別	問 題 解 決 型 ・ 課 題 達 成 型			
改善しようとした問題課題	陰臀部のスキンケア方法を見直し、褥瘡の発生を防ぐ					
改 善 の 指 標 と その 目 標 値	(指標)皮膚トラブルのある患者（目標値）18名を0名へ					
実 施 し た 対 策	①手順を統一 ②十分なスキンケア ③適切なスキンケアグッズの選択 ④患者に合ったオムツの使用					
改善指標の、対策実施前後の変化	(実施前)皮膚トラブルのある患者 18名 (実施後)皮膚トラブルのある患者 18名→0名、その後の皮膚トラブル患者の発生ゼロ					
参考にしたグループ内の過去の事例	施設名： 石巻湾岸病院 / 演題名： 震災に負けるな！褥瘡からの復興！					
チ ー ム の 名 称	ローズヒップ's		リーダー名(職種)	加藤 智子（看護師）		
			チ ー ム の 人 数	5	名	
活 動 状 況	平成25年7月～11月			平均会合時間	60	分
	会合回数	15	回	平均会合出席率	100	%



テーマ
「おしりにもスキンケアを」
～もも尻目指そう～

花川病院 看護部
チーム名 ローズヒップ's
発表者 田口 明子
メンバー 加藤 智子 成田 寛乃
褥瘡委員長 星野 充明（医師）
褥瘡委員副委員長 桐腰 祐子（看護師）

テーマの選定

◎ 5点 ○ 3点 △ 1点

問題点	重要性	緊急性	現実性	上位方針	点数
スキンケア方法の見直し	◎	◎	◎	◎	20
内服薬の管理方法	◎	○	○	△	12
煩雑な食事時間帯の業務内容の見直し	○	○	○	△	12
ヒヤリ・ハットのフィードバック方法	○	△	○	○	10

テーマ選定の理由

皮膚トラブルから褥瘡に発展するケースがある



皮膚トラブルを改善すれば、褥瘡の発生を防ぐことができるのではないか



スキンケア方法を見直す

★今回の皮膚トラブルは、臀部周囲の表皮剥離・びらん・発赤に限定する

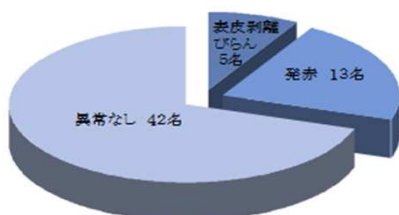
活動計画

活動期間：H25. 7. 1～11. 30
計画 ←→ 実施

実施項目	ステップリーダー	7月	8月	9月	10月	11月
テーマ選定	加藤	←→				
現状把握	田口	←→				
目標設定	成田	←→				
要因分析	加藤	←→				
対策立案	田口・桐腰	←→				
対策実施	成田・桐腰		←→	←→		
効果の確認	加藤				←→	←→
標準化	田口					←→
反省と今後の課題	成田					←→

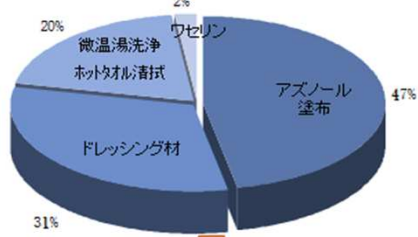
現状把握 I

H25年7月の3病棟60名の
皮膚トラブルの現状



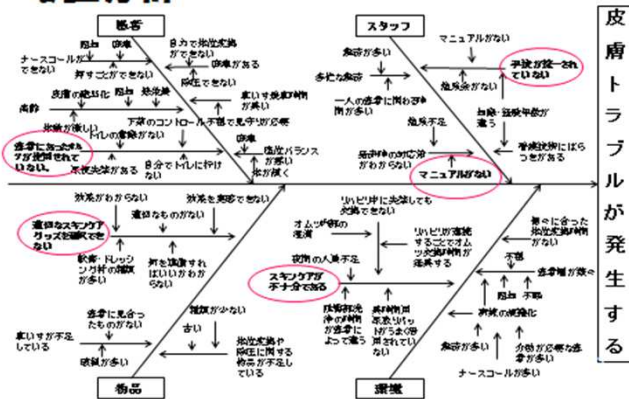
現状把握 III

H25年7月での皮膚トラブル時の処置



発赤・びらの処置がバラバラ

要因分析



対策の実施

	いつ	誰が	誰に	どこで	何を	どうする
船通会	7月中	横濱新交員系 相談	TQw委員	病棟	研修会で習得した スキンケア方法	伝達練習する
	8月	横濱新交員系 相談	横濱委員	委員会	研修会で習得した スキンケア方法	伝達練習する
マニュアル化	7月下旬	横濱新交員系 相談	TQw委員	病棟	マニュアルに資料提供	マニュアルを作成
	8月中旬	横濱委員	看護師・ 介護士	各病棟	スキンケアマニュアル	説明する
方法の統一	10月中旬	横濱委員 メンバー	対象者	病棟	ケア前後の写真	マニュアルの効果 を見た
	8~9月中	看護師・介護士	退室した患者 18名	2病棟	統一したスキンケア方法	実施する
	1週間ごと	相談・加藤	退室した患者 18名	2病棟	皮膚トラブルの発生の 写真撮影	効果の確認をする
物販	8月上旬	相談・田口	各病棟	各病棟	統一した使用物品、順番	配置した

現状把握 II

- ★陰臀部洗浄：微温湯による洗浄後、
ホットタオルで清拭を実施
(1日1回実施だが、時間が決まっていない)
- ★排便コントロールが悪く、
便のたびに洗浄を繰り返していた。

皮膚が刺激を受ける

- ・ オムツ交換: 日中2~3時間おき 夜間3~4時間おき

目標設定

H25年10月までに
表皮剥離・びらんのある患者5名
発赤のある患者13名の合計

18名→0名にし、
皮膚トラブル患者を作らない

対策の立案

◎ 5点 ○ 3点 △ 1点

政府トランプルをなくすために

			効果	費用	時間	リスク	
中核の統一	マニフェスト	両党発表による経済界の混乱	○	○	○	1.5	○
		特定の中核の政策を他3野党のメンバーを排除し、政策を決定する	○	○	○	1.5	○
		マニフェストを作成する	○	○	○	1.0	○
十分のシステム	政策案の採決方法の統一	各1党候補を支持	○	○	○	1.0	○
		他党を候補者側に立候補を促す	○	○	○	1.0	○
		他党候補を十分考慮を禁止し、ハイパーデモを採用する	○	○	○	1.0	○
		経済統合のため、政策調整をする	○	△	△	0.8	○
		他党等との政策決定をする	○	○	△	1.2	○
適切なシステムアプローチの選択	政策を議論し、統一	政策の議論を促進し、決定事項とする	○	○	○	1.0	○
		政策を議論し、党内で統一する	○	○	○	1.0	○
意図に合ったシステムの活用	各野党のシステムごとに決断のリーダーシップを促進し、決断のリーダーシップを促進し	各野党のシステムを決定する。各野党のシステムを決定する。各野党のシステムを決定する。	○	○	○	1.4	○
		各野党のシステムを決定する。各野党のシステムを決定する。各野党のシステムを決定する。	○	○	○	1.4	○
		各野党のシステムを決定する。各野党のシステムを決定する。各野党のシステムを決定する。	○	○	○	1.4	○

対策の実施 ～病棟での勉強会・アンケート～



アンケート

アンケートのお願い

対策の実施 ～マニュアル・もも尻セット～



効果の確認

皮膚トラブル患者が18名→0名になった
・その後の皮膚トラブル患者の発生ゼロ

目標達成!

効果の確認

スキンケア実施前

スキンケア実施1週間後



無形効果(アンケートより)

- 処置手順の用紙を作成したことにより、処置がスムーズに行えるようになった
- 使用する物品を揃えたことにより、無駄な時間を省けた
- 効果が目に見えたことにより、処置を積極的に行おうと感じ、意欲が湧いた
- 患者本人から苦痛の言葉が聞かれなくなった

対策の実施 ～洗浄方法～



効果の確認

スキンケア実施前

スキンケア実施1週間後



効果の確認 有形効果

コストの比較

(表皮剥離・ひらんのある患者5名を対象に、1か月で換算)

- ・褥瘡形成した場合(軟膏・ドレッシング材使用の概算):
 $1,392円 \times 5名 = 6,960円$
- ・泡洗浄後保湿剤塗布(ワセリン使用の概算):
 $57円 \times 5名 = 285円$

1か月で 6,675円のコスト削減

標準化と管理の定着

- ・マニュアルの定着 ・見直し
- ・泡洗浄の実施
- ・スキンケアの院内統一・勉強会
- ・リスク管理

**今後は院内の褥瘡委員会
へ移行し、継続していく**

今後の反省と課題

	良かった点	反省点
テーマ選定	例によるただれの患者が多く、処置方法の見直しが必要だった	テーマを絞り込むのに時間がかかった
現状把握	問題を明確化することができた	アンケート項目を絞り切れていないところがあった
目標設定	病棟で一番問題になっていることを取り上げることができた	根拠を具体的に表現するのに時間がかかった
要因分析	多くの要因を見つけ出すことができた	分析に時間がかかった
対策の立案	効果の期待できる対策を立てることができた	処置方法の統一化に時間がかかった
対策の実施	NS・CW・Dr全員でスムーズに取り組むことができた	現在ある物品でまかなったために、使いづらいものがあった
効果の確認	効果が見えたことにより、処置への意欲が増した	アンケートの調査期間が短かった
標準化と管理の定着	処置の第一選択が困らなくなった	管理の定着まで時間がかかった



ご静聴ありがとうございました。



22